

一般質問

市民クラブ

MICE事業

問 MICE建設予定地は高さが2.1メートルほどで低く、潮位や気候等の関係ですぐに冠水している。この土地が果たしてMICE施設にふさわしいのか。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書によると、今世紀末までに海面は52から98センチメートルの幅でかなり確かな確率で上昇することである。100年に一度あるかないかのまちづくりだと市

11月定例会では、11月28日、12月1日から3日までの4日間にわたり、15人による個人質問が行われました。

長が言うならば、50年後、100年後を見据えて考えるべきではないのか。

答 長崎駅前の排水対策については、現在、長崎駅周辺土地区画整理事業の中で、必要な盛土や地下に貯留管を埋め、大量の雨が降った際に一時雨水を貯めるような施設を作るなどして、道路や土地の冠水が生じないための対策を講じるようにしている。

世界遺産登録に向けた

構成資産の保全策及び活用策

問 世界遺産登録に向けた構成資産の保全については、広く市民の参画を得て、構成資産の保全策及び活用策を実施すべきと思うが、見解を伺いたい。

答 世界遺産の構成資産は、世界に誇る長崎の「たから」であり、将来にわたる保全のためには、地域住民が世界遺産に興味を持ち、守り続けていくという意識を持ってもらう必要があるため、これまで以上に広く保全活動への参加を呼びかけていきたい。

また、国、県、市や資産の所有者による保全活動に加え、世界遺産の構成資産の活用として、まずは、地域住民が参加できるような保全活動や学習活動を実施していきたい。さらに、地域以外の住民や、企業、団体が保全に参

画できるような体制構築についても検討していきたい。

ペーロン、長崎くんち等の

保存継承に向けた考え方

問 世界新三大夜景として、モナコ、香港、長崎ということになって、モナコ、長崎ということでタイアップされており、香港との交流は非常に大事である。長崎ペーロン選手権大会で優勝したチームの香港への派遣については今年で3年の契約が終わるが、今後の見通しを伺いたい。

答 長崎ペーロン選手権大会は、香港からドラゴンボートチームが来て、国際色豊かなお祭りとしてにぎわいを見せたことが交流につながった。また、優勝チームが香港に派遣されるということを励みに練習意欲が向上したことや、香港が世界新三大夜景の都市とし

てつながっていることなどから、派遣の継続は必要であると考えている。現在、県と協議をしているが、前向きに検討していきたいと考えている。

長崎市次世代育成支援

後期行動計画の成果

問 次代の社会を担う子どもが健やかに成長できる社会形成を目指し制定された次世代育成支援対策推進法に基づき策定した長崎市次世代育成支援後期行動計画の成果を伺いたい。

答 本計画は子どもに係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、保育所や放課後児童クラブなどの保育サービス、地域での子育て支援、母子保健、ひとり親家庭の自立支援など子どもや子育てに関する179事業を掲げており、うち107事業に数値目標を設定している。平成25年度までの進捗状況では5点満点中、平均4.1点となっており、おおむね順調に進捗しているが待機児童の解消などの課題もある。今後とも、子どもと子育て家庭の現状と課題を検証し、子育てしやすいまちの実現に向け、取り組んでいきたい。

障害者のスポーツ表彰

問 昨年度から、県では長崎県スポーツ表彰に障害者スポーツ部門を新設。追加し、障害者の選手を表彰している。本市は今後どのように考えているのか、見解を伺いたい。



▲大雨の際のJR長崎駅西側の交流拠点施設用地付近の冠水の様子(平成24年9月撮影)



▲香港国際ドラゴンボートレース大会